

人間関係で組織の生産性が変わる!!

～FFSでコミュニケーション力UP～

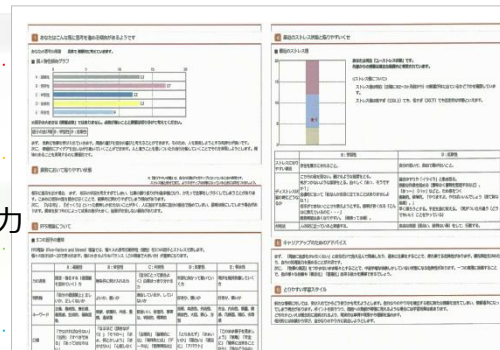
FFS理論とは

FFS (Five Factors & Stress) 理論とは、「ストレスと性格」の研究において開発されたものです。人が意識的、無意識的に考え、行動するパターンを5因子で計量し、ストレス値においてポジティブな反応か、ネガティブな反応かを分析します。その結果、その人が保有している潜在的な強みが客観的にわかります。

5つの因子とは

- A 「凝縮性」**
自らを固定・強化しようとする力
- B 「受容性」**
自らの外部の状況を無条件に受け入れようとする力
- C 「弁別性」**
自らの内部・外部の状況を相反分別しようとする力
- D 「拡散性」**
自らを拡張・発展させようとする力
- E 「保全性」**
自らを保全・維持させようとする力

報告書サンプル



バランスによって個別特性（個性）が客観的に把握できます。

特性を意識したコミュニケーションとは？

- A 「凝縮性」** (因子毎に異なる動機づけの方法)
君の考え方は正しいのだから自信を持って頑張れ！
- B 「受容性」**
君がいるから、うちのチームはまとまっている。貢献してくれているよ！
- C 「弁別性」**
どう思う？判断して欲しい！
- D 「拡散性」**
何かおもしろい事やってみてよ！これは君しか出来ないことだよ！
- E 「保全性」**
皆と一緒に着実にやっっていこう！

FFSはこのような事業所にオススメです！

- ✓ 優秀な人材が定着しない・・・。
- ✓ 社員のチームワーク、モチベーションを上げたい！
- ✓ 組織が上手くいっていないと感じる。。
- ✓ 戦略的なチーム作りに関心がある！！

上記項目に1つでも当てはまることをございましたら、是非弊社までご相談下さい！



【FFSに関するご相談はこちら】

株式会社 マスネットワーク (担当：山下)

〒390-0817 長野県松本市巾上9-9

TEL : 0263-33-2223 (8:30~18:00受付) FAX : 0263-33-2396 (24時間受付)

分析によりわかる事

その他、特性毎に異なる様々な項目を理解し、意識することで円滑で効果的なコミュニケーションが可能です。

- ✓ 動機づけのポイント、話し方
- ✓ ストレス要因、ストレス状態、ストレスマネジメント
- ✓ チームへの関わり
- ✓ 自己学習スタイル、効果的教育方法

帳票サンプル

項目	結果	解説
1. 自己学習スタイル	1. 自己学習スタイル	自己学習スタイルは、自己学習の進め方、学習の進捗、学習の成果などを示す指標です。
2. 効果的教育方法	2. 効果的教育方法	効果的教育方法は、学習者の学習成果を最大化するための教育方法です。
3. チームへの関わり	3. チームへの関わり	チームへの関わりは、チームの学習成果を最大化するための関わり方です。
4. ストレス要因	4. ストレス要因	ストレス要因は、学習者の学習成果を低下させる要因です。
5. ストレス状態	5. ストレス状態	ストレス状態は、学習者の学習成果を低下させる状態です。
6. ストレスマネジメント	6. ストレスマネジメント	ストレスマネジメントは、学習者の学習成果を最大化するためのストレス管理方法です。

項目	結果	解説
1. 自己学習スタイル	1. 自己学習スタイル	自己学習スタイルは、自己学習の進め方、学習の進捗、学習の成果などを示す指標です。
2. 効果的教育方法	2. 効果的教育方法	効果的教育方法は、学習者の学習成果を最大化するための教育方法です。
3. チームへの関わり	3. チームへの関わり	チームへの関わりは、チームの学習成果を最大化するための関わり方です。
4. ストレス要因	4. ストレス要因	ストレス要因は、学習者の学習成果を低下させる要因です。
5. ストレス状態	5. ストレス状態	ストレス状態は、学習者の学習成果を低下させる状態です。
6. ストレスマネジメント	6. ストレスマネジメント	ストレスマネジメントは、学習者の学習成果を最大化するためのストレス管理方法です。

項目	結果	解説
1. 自己学習スタイル	1. 自己学習スタイル	自己学習スタイルは、自己学習の進め方、学習の進捗、学習の成果などを示す指標です。
2. 効果的教育方法	2. 効果的教育方法	効果的教育方法は、学習者の学習成果を最大化するための教育方法です。
3. チームへの関わり	3. チームへの関わり	チームへの関わりは、チームの学習成果を最大化するための関わり方です。
4. ストレス要因	4. ストレス要因	ストレス要因は、学習者の学習成果を低下させる要因です。
5. ストレス状態	5. ストレス状態	ストレス状態は、学習者の学習成果を低下させる状態です。
6. ストレスマネジメント	6. ストレスマネジメント	ストレスマネジメントは、学習者の学習成果を最大化するためのストレス管理方法です。

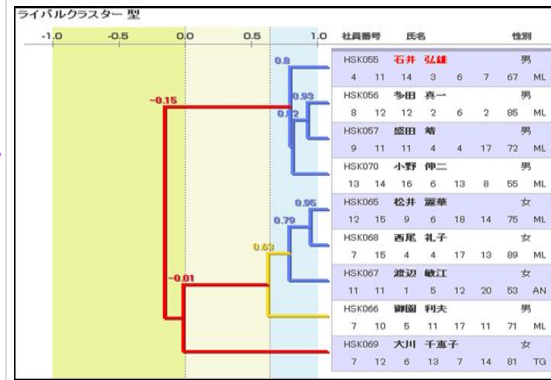
関係性分析

FFSは、一人ひとりの個人の思考行動特性を測定し、個人のデータから更に関係性が分析できます。 チーム編成や組織開発へと応用できる事が特徴です。



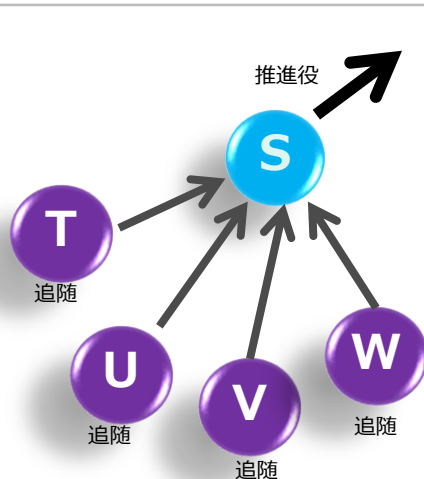
- * 同質化 → 特性の似たタイプが多い
- 異質性 → 異なるタイプの人材がいる
- 補完 → リーダーと補完関係にあるか否か

【デンドログラム】

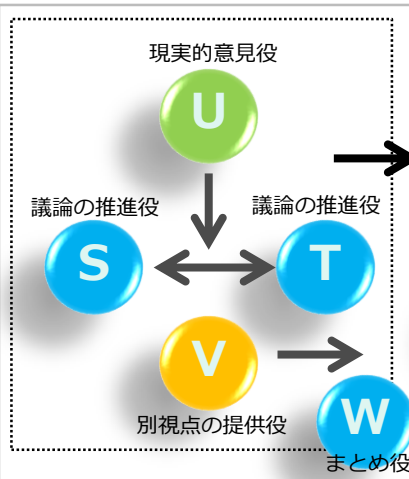


議論モデル

① 同質型チーム



② 同質系補完チーム



③ 無相関チーム

